

6 月 7 日：VN 指数は 950 ポイント割れ

6 月 6 日も商いが乏しく、ホーチミン市場の VN 指数は心理的な節目である 950 ポイントを割り込んだ。

上昇した 110 銘柄に対し下落したのは 163 銘柄となり、3.2 ポイント安 (-0.34%) の 948.21 ポイントで引けた。

出来高は前日比 4%減の 1 億 2,580 万株、売買代金は同 17%増の 3.1 兆ドンとなった。

建設会社の ROS が 1,260 万株の出来高を伴って市場を牽引したが、0.2%下落し 30,050 ドンで引けた。鉄鋼会社の HPG も 700 万株の出来高で続いた。

ゴム関連の SRC は、株式の売出し計画を発表し、上限値幅まで上昇し、35 万株の出来高を伴って 28,600 ドンで引けた。

サイゴンハノイ証券はレポートの中で、市場は上昇のきっかけを待ち望んでいると述べている。

米 FRB は今週、世界的な貿易戦争がアメリカの金利を低下させると警告したが、ベトナム市場はこの警告に反応していないようだ。流動性の低下は、国内投資家が現在のさえない市場にうんざりしているからだ、同レポートは述べている。

タインコン証券によれば、市場はまだ困難から抜け出していないようだ。

アメリカと中国の貿易戦争の激化、世界経済の鈍化に対する懸念は国内市場にくすぶり続けるだろう。再び上昇に向かうには一層の調整を経る必要があるかもしれない。

今週初め、MB キャピタルの Ngo Quoc Hung 氏は、5 月の世界的な市場の下落は貿易摩擦によるものだと経済紙で語った。

先月、ニューヨークで S&P500 指数は 6.6%下落、上海総合指数は 5.84%下落、欧州の STOXX600 は 5.7%下落した。

ベトナムも同様に 2%以上の下落となった。国内にはポジティブな兆しはなく、外部要因は悪化しており、今月上旬は売り圧力にさらされるだろうと Hung 氏は語った。

ハノイ取引所では HNX 指数は 0.51 ポイント、0.49%下落し 103.3 ポイントとなった。出来高は 4%増の 2,110 万株、売買代金は 5%増の 2,540 億ドンとなった。

100 万株以上の商いがあったのは 3 銘柄のみだった。PVS が 220 万株の出来高を伴い、0.5%高の 21,700 ドンで引けた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。